

会議録

- 議事内容 2023年度 7月定例教育委員会
- 日時 令和5年7月20日(木) 13:30~16:00
- 場所 4階会議室4-1
- 出席者 教育長 橋本 浩明
教育委員 河嶋栄里子・藤本真理・養父雄一・石原友紀
学術政策員 陰山 茂
事務局 入江教育管理部長・藤井教育指導部長
松田教育総務課長・市橋いきいき社会創造課長
竹内スポーツ振興課長・教育総務課 澤谷

■ [会議の内容]

- 1 開会あいさつ
・教育長

- 2 前回議事録確認
・2箇所訂正することで承認

3 議案

議案第11号 令和6年度に使用する小学校教科用図書、中学校教科用図書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書の採択について(学校教育課)

小野市立学校における令和6年度使用教科用図書について、『義務教育諸学校の教科書用図書の無償措置に関する法律』第13条に基づき、北播磨採択地区協議会における選定に関する報告書により採択するため、委員会の議決を求める。

選定された教科書について、小学校は、書写・生活・音楽・保健・英語・道徳が令和5年度から変更になっている。その他の教科については、変更はない。中学校の教科書は、令和4年度に行った前回採択から変更はない。また、特別支援学校および特別支援学級で使用する教科書についても変更はない。採択理由については、教科ごとに、採択理由書に記載している。

■ 【教育委員からの照会及び意見】

Q:教科書に載っているQRコードを読み取ると何が出てくるのか。(教育委員)

A:大体の教科書の設定からすると、音声や動画といった、教科書ではわかりにくいような情報等が出てくる。(事務局)

Q:学年によって上・下の2冊に分かれていたり、1冊になっていたりする教科が

あるが、何か理由はあるのか。(教育委員)

A: 1冊にしてしまうと重くなるからではないかと考えられる。重くなると低学年だと体力的に厳しいこともあるので、その辺りの配慮はどの教科もしている。(事務局)

A: 1冊になると分厚いと思ったが、文字の数が多というわけでもなく、たくさん色が使われており、図や写真も多いので、自分が使っていた時は国語の教科書は文字ばかりというイメージだったが、とてもカラフルになっている。(教育委員)

Q: 教科書にでてくる子どもの中に外国の子どもも入っていて、多様性が取り入れられているという印象を受ける。外国籍の子どもたちと一緒に勉強していると、日本人でも今はあまり使わないような単語が教科書に出てくるともあるのだが、今回見たところそういったことは無いようなので、そういうところも時代に合わせて配慮されている。また、外国の子だけでなく、障がいのある子ども教科書に出てきていて、とても配慮されている。(教育委員)

A: 今は教室の中に外国籍の子どもたちも在籍していることが当たり前になっているので、それにあわせて教科書も変わってきている。(事務局)

Q: 書写の教科書に猫のイラストが載っているが、これの効果は。(教育委員)

A: 色刷りや文字がたくさんあると、それで混乱してしまう子もいるが、この教科書では猫を見つけたらポイントがわかるので、特別な支援が必要な子どもにもポイントがわかりやすい。また、空間認知が苦手な子どもだと、教科書の右上というように場所を言ってもすぐに見つけることが難しいが、イラストなどをうまく使うことで、特別支援の子にもわかりやすいものになっている。(事務局)

Q: 社会科は歴史の背景の捉え方が出版社によって異なってくると思うので、それぞれの出版社の教科書で特に違いが出てくるのではないか。(教育委員)

A: そういったことも選定する理由の一つには入ってくる。ただ、先生方はフラットな視点で考えるので、偏った考え方に寄っていくようなことは考えられない。(事務局)

Q: 教科書の紙の質なのか、ページがめくりやすい。(教育委員)

A: 以前の教科書と比べて、綺麗に開きやすくなっている。(事務局)

Q: 6年生の社会科の教科書について、分野によって政治・国際編と歴史編の2冊にわかれているが、テストは分野ごとに分かれているのか。それとも1つのテ

ストで両方の内容が出てくるのか。(教育委員)

A:カリキュラムによってその教科書をどこで使うのか決まっており、分野が混ざることではなく、その期間で決められた学習をしている。テストもそのとき学んでいる内容が出るので、両方の内容が一緒になることはない。(事務局)

Q:クロームブックと併用することになるとは思うが、地図帳を使って自分で調べることが大事だと考える。(教育委員)

A:クロームブックで調べるよりも、国や特定の地点を探したり調べたりするには、地図帳はとても良いものである。また、地図帳は社会の調べ学習等でも活用できる。(事務局)

Q:算数セットは1年生から必ず購入するのか。また、何年生まで使うのか。(教育委員)

A:その通り、1年生から購入する。いつまで使用するかは先生方の指導によって変わってくるが、高学年でも全部は使わなくても、特定のものだけ使うといった時もある。(事務局)

Q:そうすると6年生まで学校に置いておくことになるのか。(教育委員)

A:置いておくのはおそらく2年生まで。具体物操作というのは、子どもたちが理解する上で非常に大事になってくることから、算数セット等はよく使用することになる。(事務局)

Q:違う出版社の教科書に変わっても、算数セットや分度器、コンパス等は全部必要になるのか。(教育委員)

A:算数セットをメインで使う学習が終わった後の3・4年生で、分度器やコンパスなどを揃えて、使えるように学習する。コンパスで三角形を書く等、そういった作業も確かにクロームブックで代用はできるが、やはり実体験は非常に大事なので、それはどの教科書になっても外せないところである。(事務局)

Q:教科書の中にも色々な考え方の例が出ていたり、参観日でも他にも答えの出し方があると発言しているのを見たりするので、答えの出し方は1つだけではないというようになってきているのですね。(教育委員)

A:例えば同じ方法でも、説明する順番が変わったり、子どもによって説明の仕方が変わる。思考力を育てる上では非常に重要なことなので、そういったことも大事にしている。(事務局)

Q:分数の割り算で引かかると聞かせることが多いと聞いたことがある。先生がどのように説明されているのか気になるが、算数は教科書を読むだけでは理解するのが大変だと思うので、説明される先生の言葉が大事だと考える。(教育委員)

A:例えば文章題だと、教科書に答えの表し方が最初から2つも載っていて、その通りにすれば答えは出るが、何故この考え方になるのかということを考えることがすごく重要になる。そこを大事にしているので、教科書にはたくさんの説明が載っている。自分で説明し直したり、批判的思考を持ってもう1回考え方を再構成するといったことが、昔の答えを出せたら良いというものから変わってきている部分である。それから、先生の説明よりも、子どもの言葉で説明した方がよく理解できる場合も多いので、子どもたちが説明する場面や子どもたちで議論させる時間をたくさん作ることで、協働的な学習を進めて思考力を高めるような工夫を授業の中でされている。現在は、先生が説明する場面と子どもたちに考えさせる場面を、教科書の内容を見ながら工夫して授業を作っていくという流れになっている。(事務局)

Q:教科書によって内容が変わってくると思うが、テストは先生方が自分で作られているのか。(教育委員)

A:多くは業者のテストの中から子どもたちの実態に合うものをよく確認して選んでいる。そこでもう少し子どもたちの理解度を調べてみたいと思うときには、先生方が作ったテストもされている。(事務局)

Q:業者によってテストの内容が少しずつ違ってくるのではないか。(教育委員)

A:教科書に合わせて作ってあるので、教科書の内容からそれるようなことはない。ただ、問題の難易度は業者によって若干変わってくる。(事務局)

Q:教科書は最初から最後まで順番に学習していくのか。それとも内容が前後することもあるのか。(教育委員)

A:学校によってカリキュラムのたて方が違うところがあるので、全てそうだとはいえ切れないが、たいていは教科書の最初から学習していく。特に理科は季節に合わせて単元が並べられており、例えば花の作りのところだと、花があるときにしないと学習ができなくなってしまうので、それに合わせて年間カリキュラムを組んでいくという形になる。(事務局)

Q:理科の教科書に、先生・保護者の方へということで、噴火や地震といった災害の写真が載せているので、指導の際には配慮するように書いてある。(教育委員)

A:東日本大震災の時に、不用意に津波の映像や写真を見せたことで、子どもが不安になって、そういったものを見られなくなってしまったという事例がたくさんあり、そのためショッキングな映像等を扱うときには、特に気をつける必要があるということで、どの先生も気をつけている。(事務局)

Q:理科の採択理由に、UDフォントが取り入れられているとあるが、他の教科書

はそうではないのか。(教育委員)

A:書写や国語の教科書にはUDフォントを使っているという表記があった。(事務局)

A:どの子でも見やすいということで、学校ではUDフォントがよく使われている。(事務局)

Q:理科の教科書は写真も多く図鑑に近いですね。(教育委員)

A:理科は特にQRコードの活用頻度が高く、例えば天体観測で実物をあまり見ることができないものを見られたり、実験の様子を確認できる等、情報がたくさん含まれている。(事務局)

Q:先生が自分で様々な教材を作られていると思うが、このように色々見ることができるようになると、そういうのも必要なくなってくるのではないか。また、クロームブックと合わせることでより先生方の負担も減るのではないか。(教育委員)

A:負担は減ると思う。ただ、先生は教科書をどれだけ読み込むかといったことがすごく大切であり、それをもとに授業準備で自分の資料を作るということは、教師の技量を上げるうえで、また、より質の高い授業を提供するためには必要なことである。(事務局)

Q:漢字にルビがあるかないかというのは、それまでに習っているかどうかで違っているのか。(教育委員)

A:その通り。その学年までに習っていない漢字を使わないとどうしても表現できない言葉が出てきたとき等にルビがふられている。(事務局)

Q:同じ教材でも全てルビがふられているような特別なものはないのか。(教育委員)

A:わからないので、調べて報告します。(事務局)

Q:音楽の教科書で、QRコードを読み取って出てくる動画は、家で見るためのものなのか、学校でもそれを映したりするのか。(教育委員)

A:クロームブックを家に持って帰って使うことはあまり想定してないので、基本的には学校で学習するときを使うことになる。楽器を扱い始めると先生1人で全て対応するのは難しくなる。また、全ての楽器に精通している先生はやはり少ないので、そういったときは動画を見ながら教えるという使い方もできる。補助的にクロームブックを上手に活用しながら授業ができれば良いのではないかと考えている。(事務局)

Q:QRコードはどうやって読み取るのか。(教育委員)

A: クロームブックのカメラ機能で読み取るとURLが出てくるので、それをタップするとアクセスできるようになっている。(事務局)

Q: 家で保護者のスマートフォンで見ることできるのか。(教育委員)

A: 見ることができる。他にも自分のタブレットがあるならそれで見ることできる。(事務局)

Q: 図工の教科書にたくさんの内容が載っているが、これは全部授業をするのか。絵や工作等様々な分野があるので先生方も教えるのが大変なのではないか。(教育委員)

A: 基本的にはカリキュラムに全部組み込んでいる。ただ、作品を作るのに非常に時間がかかるので、軽重はつけていると考える。また、教材の材料を見つけるのが結構大変なので、教材キットを購入して、それに合う学習をするという工夫はされている。(事務局)

Q: この前見に行ったときに、粘土を使った授業をされている学校があったが、教科書を見てみると後半にあったので、順番はあまり関係ないのだろうか。(教育委員)

A: 図画工作では、どうしても絵の作品を出さないといけないタイミングがあり、外に行って絵を書こうと思うと季節的なこともあるので、順番を動かしても特に影響ないものに関しては動かすことがある。(事務局)

Q: 生活科と家庭科の違いを教えてほしい。(教育委員)

A: 生活科は1・2年生で学習する。基本的に環境や社会的なこと等、自分の身の回りのことに気付いて、そこから自分なりに考えていくことが生活科の主なポイントである。そのため、スキルの習得といったことにはあまり重きを置かれていない。家庭科については、裁縫や調理といった、社会的な自立も含め、技術の習得が大きな目的の一つである。(事務局)

Q: 特別支援学校には色々な子がいるが、それぞれに合わせて教科書は作られているのか。(教育委員)

A: 星本といって教科書となってまとまっている。その中で、子どもたちに合うものがあればそれを使っていくというような形になる。具体的にどういった使い方をしているのかは、次の機会までに特別支援学校に確認して報告する。(事務局)

- ・ 道徳の採択理由の中にアンガーマネジメントが取り扱われていると書いてあったが、自分の気持ちやストレスをコントロールすることや、こういうときにどうすれば良いか方法を示す等のストレスマネジメントといったことも教科書

の中にあれば良いのではないかと考える。(教育委員)

(議案第11号について、承認を得る。)

4 報告事項

- ・令和5年度主要事業の進捗状況の説明及び教育委員からの意見聴取

■【学校教育課関連】

①第Ⅲ期教育振興計画の具現化【教育課程管理】

(進捗状況)

- ・7月6日に京都大学の中村克己先生との面談を行った。その中で、睡眠はとても大事なので、小野市として子どもたちの睡眠の状況を把握して、本当に睡眠がしっかり取れているかということも確認することが大事だというお話があった。
- ・脳を鍛えるという部分では、便利になるほど脳は駄目になってしまうので、タブレットの使い方にはよく気をつけるようお話があった。
- ・効果的な学習法としては、繰り返し取り組むことが重要だということと、一度に行うのではなく、分けて学習することが大事だと教わった。それから、子どもたち同士の教え合いはとても大事だということ言われていた。また、インターネット検索ばかり頼ると脳が鍛えられないので、本を使った学習や本を使って調べることが大事だと言われていた。
- ・同じような内容を6月8日の学力向上推進委員会でも話をした。
- ・教職員のICTスキル活用調査を行った。今年度の特徴としては、全体的な底上げ効果があったことと、50代、60代の教員の活用スキルが向上していたところが大きなポイントである。

②「チーム学校」を踏まえた学校組織マネジメントの強化とリスクマネジメント【危機管理】

(進捗状況)

- ・『報・連・相』及び『4号報告(いじめ・問題行動等)』で報告
- ・就学援助事務(給食費のセンター支払い・添付書類の省略)受付
- ・情報モラルの推進、スマホ・SNS等の正しい使い方について

③人材育成と働き方改革【人的管理】

(進捗管理)

- ・小野中・小野南中・旭丘中で1学期末、期末テストにデジタル採点ソフトを導入し、採点事務の軽減を図っている。どれぐらい時間短縮があったの

か、どのようなことがメリット・デメリットとして挙げられるか、各学校に報告するよう依頼している。

④学校教育課情報

1 市の取組予定

- ・ 7月 5日 行政視察（栃木県真岡市）
- ・ 7月 7日 校長会
- ・ 7月12日 行政視察（静岡県藤枝市）
- ・ 7月28日・29日 兵庫教育大学・小野市連携 サイエンス祭（エクラ）

2 学校の取組

○小・中・特別支援学校 修学旅行

- ・ 7月11日（火）～ 7月12日（水）：小野特 生活キャンプ
- ・ 9月 5日（火）～ 9月 7日（木）：河合中 東京方面
- ・ 9月14日（木）～ 9月15日（金）：河合小 奈良・京都方面
- ・ 10月 3日（火）～10月 4日（水）：市場小・下東条小
奈良・京都方面
- ・ 10月 4日（水）～10月 5日（木）：小野東小 奈良・京都方面
- ・ 10月10日（火）～10月11日（水）：来住小・大部小
奈良・京都方面
- ・ 10月11日（水）～10月12日（木）：小野小・中番小
奈良・京都方面

○小学校自然学校

- ・ 8月28日（月）～ 9月 1日（金）：小野東小（南但馬）
- ・ 9月11日（月）～ 9月15日（金）：中番小・下東条小（南但馬）
市場小（嬉野台）
- ・ 9月25日（月）～ 9月29日（金）：小野小（嬉野台）
来住小（国立淡路）
- ・ 10月 2日（月）～10月 6日（金）：大部小（嬉野台）
- ・ 11月13日（月）～11月17日（金）：河合小（南但馬）

→コロナの感染者数が増加しているので、コロナ等の状況を把握しながら、全員が楽しく過ごせるように行いたいと考えている。夏休み中は感染の報告をする必要はないが、自然学校の2週間程前からコロナの進捗状況を確認するために、保護者にはコロナまたはインフルエンザに罹患した場合は学校へ連絡するように各学校から依頼する。

3 学校の状況等

○6月の4号報告8件

○6月の不登校の状況

・小学校47名（前年11名）

・中学校29名（前年52名） 合計76名（前年63名）

・不登校は増加傾向にある。どう対応していくのか難しい問題ではあるが、継続的に検討していきたい。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q:デジタル採点ソフトについて、テストの答えは手書きだと思うが、手書きの文字をソフトが判別して採点するということか。（教育委員）

A:デジタル採点ソフトで採点できる答えの形というものがあるので、先生方が作成するテストの回答がその形になるように問題を工夫・調整していただいて、出てきた答えを自動採点するという形になる。ただ、自動採点といっても全て点数が出てくるわけではなく、判別できない場合は最終的に先生方の目で確認して、テストを採点する。（事務局）

Q:子どもたちにデジタル採点ソフトを導入することについて説明はあったのか。（教育委員）

A:学校に確認し報告します。（事務局）

Q:字がきれいではなかったり、特徴的な字を書いていたりで、ソフトではうまく回答が読みとれず、成績が左右されるようなことはないのか。（教育委員）

A:業者に問い合わせたところ、例えば漢字については、判別が難しい同じ文字が集められ、それを先生が必ず確認して判断する。それでも判断がつかない場合は、実際の答案を見て判断し、点数をつけるという形になるということだった。（事務局）

A:デジタル採点ソフトで採点されるので丁寧に文字を書こう、というように子ども自身の意識が変われば良いと考える。字を丁寧に書く子どもが増えれば、先生の時間短縮にもつながるのではないかと。（教育委員）

Q:文章題はデジタル採点ソフトではおそらく採点できないので、文章題が減って簡易な選択問題が増えるのではないかと危惧されるが、その辺りは問題ないのか。（教育長）

A:採点のソフトの精度が上がってきているので、それを導入することで問題が簡素化したり簡易化したりすることは、あまり聞いたことはないかと業者から聞いている。ただ、論述問題については当然採点できないので、そのあたりどうしているかということも含めて学校の方に調査をしている。（事務局）

Q:小野中・小野南中・旭丘中で導入しているが、なぜ河合中学校だけ導入してい

ないのか。(教育長)

A:河合中学校は生徒数が少ないので、デジタル採点ソフトを使ってもあまり時間短縮にはならないと判断されて導入しなかった。デジタル採点ソフトを導入したきっかけは、県の教育委員会が高校の採点事務に導入したこともあり、県から試してみないかという提案があった。そこで、本格的に試してみようということで、今年度は3校で使用している。河合中学校は導入していないが情報提供は行っている。(事務局)

Q:導入したことによる先生方の手応えや反応は良好なのか。(教育委員)

A:採点にかかる時間が短くなったということで、先生方からは好評だった。ただ、採点の時間が短くなったことで空いた時間を何に使っているかという部分が大切であり、そこがどうなっているのか知りたいので、学校に尋ねているところである。(事務局)

Q:ソフトで採点ができるような問題を作成するのに時間がかかるようなことはないのか。(教育委員)

A:それはあるのではないかと考える。ただ、先生方から話を聞いた段階では、それについてはあまり言われていなかった。しかし、テストがどのようなものか、実物を見ていないので、そこも含めて一度確認します。(事務局)

Q:中村先生と面談されて、やはり睡眠が大事だということで、ひまわりカードと同じように、睡眠が何時間できたか調査するカードのようなものがあれば、睡眠についても意識するのではないか。(教育委員)

A:同じことを中村先生も言われており、脳科学を推進している小野市であれば、もっと睡眠調査もされてはどうかというご提案があった。調査をすることで、一つのポイントになるのではないかと考えている。(事務局)

Q:自然学校の2週間程前からコロナまたはインフルエンザの罹患状況の報告を保護者に依頼するとのことだが、それは小野東小学校だけ行うのか。(教育委員)

A:小野東小学校の自然学校は、夏休み最終日の8月28日から始まるので、インフルエンザやコロナの罹患状況や欠席状況が把握できない。初日に大勢休むような状態になりそうな場合は、事前にキャンセルして日程を変えるなど、対応を考える必要があるので、小野東小学校については事前に報告をお願いした。それから他の学校についても、2学期が始まる2週間程前から、もし罹患した場合は報告をいただくと感染状況が把握できるので、2学期のスタートを安定させるために学校としては情報をつかんでおく必要がある。中学校は部活動の関係で罹患状況等の把握がしやすいが、小学校の場合は全くわからないので、保護者に報告を依頼するよう学校に話す予定である。(事務局)

Q: 1学期も終わるが、不登校の子どもたちに関する書類等は担任の先生が直接ご家庭へ持っていくのか。(教育委員)

A: 基本的に通知表や成績に関することは保護者に学校へ来ていただいてお渡しするという形になるので、そのときに必要な書類も渡している。それができない場合は、学校の先生がご家庭に行き、面談してお渡しするような形になる。(事務局)

Q: 1人1人残さず状態を把握できているということによいか。(教育委員)

A: その認識で相違ない。(事務局)

■ [教育総務課関連]

①新幼稚園整備事業

(進捗状況)

- ・設計業務を進めており、進捗率は6月末で60%。
- ・建物内部の設計はほとんど完了しており、現在は建物周辺の駐車場整備等の検討に着手している。
- ・6月広報と市のホームページで基本設計の公表と新たな幼稚園に対する意見募集を行った。6月23日に意見募集の受付を終了し、1件意見があった。内容については、教育系プログラム(横峯式教育法)を導入されてはどうかという提案だった。意見とそれに対する市の考え方をホームページで公表している。

(課題)

- ・新幼稚園の運営準備について、教育総務課ではハード面の対応をしているが、ソフト面についても月2回幼稚園の先生と打ち合わせを行い、預かり保育等今後どうしていくか、検討を進めている。

②学校施設長寿命化対策事業(旭丘中学校)

(進捗状況)

- ・旭丘中学校の仮設校舎について、外枠がほとんどできており、進捗率は55%。現在は内装の工事に着手している。
- ・校舎の建設工事については、仮設校舎が完成して校舎が空かないと工事に入れないので、進捗率は0%となっている。仮設校舎への引っ越しが8月末に完了するので、9月以降に本格的な工事に着手する。

(課題)

- ・体育館の改修工事について、建設当時の基準面積には合致していたが、現在の基準面積に比べると旭丘中学校の体育館の規模は小さく、どうしても壁が近くて危険なので、規模を大きくしたいと考えている。長寿命化工事は、基本的に柱や耐力壁等の躯体をそのまま使って、そこに強度化を図っ

ていくというものである。しかし、アリーナ部分を大きくしようとする
壁や柱を抜く必要があり、そうすると長寿命化には当たらないので補助が
でないという問題がある。これについて文部科学省と協議を行っていく予
定である。

③学校施設バリアフリー化整備事業

(進捗状況)

- ・小野小学校のエレベーター設置工事の設計業務委託について、進捗率は
6月末で20%。
- ・6月20日に業者と現地調査を行い、エレベーターの設置場所を決定した。
職員室前の階段室のところに設置する予定。
- ・既存の段差について、来年度のエレベーター設置工事にあわせて解消する
ように進めている。

(今後の予定)

- ・地盤調査や測量を行っていく。

④教育総務課情報

1 ICT教育推進事業

○校務用パソコン購入設置(140台)

令和5年5月17日入札落札 (株)オー ज्या商事

令和5年5月19日～9月30日 18,645,000円

→教職員用のパソコン約380台(H28購入)について、3年かけて計画的
に更新を行う。令和5年度は140台を購入する。8月1日～8月8日の間
で順次納品。

2 学校施設工事等関係

○市場小学校受水槽及び消火水槽更新工事 設計・監理業務委託

令和5年5月17日入札落札 (株)小西建築設計事務所

令和5年5月19日～令和6年3月20日 7,700,000円

→設置後約37年が経過し、老朽化進んでいるため更新を行う。6月30日に
現地調査を実施し、受水槽の設置位置を決定。

○河合小学校・市場小学校空調更新工事 設計業務委託

令和5年6月28日随意契約 (株)小野設計

令和5年6月28日～令和6年3月20日 4,895,000円

→学校の空調は平成23年度に一斉に整備され、12年が経過し、故障等の不
具合が多く、部品の生産も終了しているため修理できない状態であること
から、順次更新を行う。

○小野中学校柔道場床改修工事

令和5年6月6日入札落札 (有)ヤマモト工務店

令和5年6月12日～令和5年9月25日 13,948,000円

→柔道場の床組み(束)が老朽化により破損し、床にたわみが生じており、授業や部活動に支障をきたしているため、柔道場の床組み及び畳を更新する。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q:旭丘中学校の校舎と体育館の間の部分は車が通ったり、駐車場になったりしているが、体育館を広げる場合、そこに増築することは学校的には問題はないのか。(教育委員)

A:校舎側にしか広げられないので、車の通り道や駐車する場所を工夫する必要があるが、大きな問題ではない。(事務局)

Q:おの幼稚園の意見募集について、もう少し詳しく教えてほしい。(教育委員)

A:意見に対する市の考え方としては、横峯式のような学習や運動に特化したプログラムは小野市の幼稚園ではしていないが、川島隆太顧問に助言をいただきながら、小野市のそろばんを使った数遊びや楽器の演奏、ALTの方と英語で遊ぶ等、子どもの興味と関心を大切にした五感を使った体験活動を取り入れており、新幼稚園についても子どもの脳の前頭前野を使った各種プログラムを展開していく、という回答をホームページに掲載している。(事務局)

Q:小野小学校のエレベーター設置について、この4,730,000円というのはエレベーターの設置にかかる金額であり、バリアフリーにしていくにはまた追加で金額が必要になるのか。(教育委員)

A:これはエレベーター設置工事の設計の金額であり、工事費はこの設計金額をもとに来年度決定する。(事務局)

Q:小野小学校は段差が多いので、エレベーターも大事だが、段差の解消を優先する方がよいのではないか。(教育委員)

A:エレベーターの設置は肢体不自由の子ども等への対応のために、かなり要望を受けているので、優先して行う必要がある。(事務局)

■【いきいき社会創造課関連】

①小野市文化財保存活用地域計画策定事業

(進捗状況)

- ・計画素案のパブリックコメントを5月22日から6月9日まで実施。6月22日にパブリックコメントの結果を好古館のホームページで公表した。4名の方から15件の意見をいただき、小野市の文化財等をPRしてほしい

いということや、マップや年表を作ってほしいといった意見があった。
(今後の予定)

- ・ 8月4日に第6回地域計画協議会を開催し、パブリックコメントの意見を受けての修正案の検討を行う。

②コミュニティセンター事業（地域づくり協議会、特色ある取組み等）

(進捗状況)

- ・ かわい:花いっぱい運動・花苗植栽を6月4日に開催。参加者は47人。
広報紙「かわいのさと」を6月1日に発行。
- ・ きすみの:花いっぱい運動・花苗植栽を6月10日に開催。参加者は20人。
- ・ いちば:花いっぱい運動・花苗植栽を6月4日に開催。参加者は45人。
- ・ 下東条:花いっぱい運動・花苗植栽を6月4日に開催。参加者は31人。

(今後の予定)

- ・ おおべ:小学生4～6年生を対象に、おおべ未来塾②「夏の星の観察会」を7月22日に開催する。
- ・ 全館:小中学生を対象に、サマースクールを7月26日～8月25日に開催する。

③いきいき社会創造課情報

1 事業報告

[図書館]

○図書館蔵書点検

期 間：6月20日（火）～6月27日（火） 8日間

蔵 書 数：228, 572冊

不 明 本：34冊程度

[好古館]

○企画展「生誕百年記念 上田三四二と小野」

「小野市名誉市民受賞記念 馬場あき子の世界」

期 間：令和5年5月27日（土）～6月25日（日）

内 容：生誕100年を記念して、上田三四二と小野市のつながりを紹介。また、長年短歌フォーラムの選者を務め小野市の文化向上に寄与された馬場あき子先生の生い立ちや業績を紹介した。

会 場：小野市立好古館 2階展示室

入 館 者：443人

○企画展「そろばん群像－神内信夫写真展－」

期 間：7月1日（土）～9月24日（日）

内 容：そろばん製造に携わる人びとの写真を中心に、モデルとなった職人たちが製造したそろばんや工具なども紹介する。

会 場：小野市立好古館 2階展示室

[コミセン]

○小野地区三世代交流アジャタ大会（小野地区地域づくり協議会）

日 時：6月11日（日）9：30～11：45

場 所：小野市総合体育館 アリーナ

競技種目：スポーツ玉入れ競技（キッズ、一般シニアの2部門で実施）

参加者数：110人・17チーム（9町）

成 績：キッズ部門 優勝 小野ニュータウン子ども会1
一般シニア部門 優勝 ワンチーム大開

○市場地区独居高齢者等昼食提供支援事業（市場地区地域づくり協議会）

独居高齢者の見守り活動の一環として、市場地区の独居高齢者を対象に昼食をふるまい、食事と歌の合唱をしながら一緒に楽しんだ。

日 時：6月20日（火）11：30～

場 所：コミセンいちば 集会室及び調理室

支援内容：市場地区の独居高齢者に対する昼食の提供ほか

支援対象者：40人

○コミセン下東条事務所空調機器更新工事の実施（エアコン取替）

コミセン下東条の事務所にある空調設備（設置後17年間経過）の故障等に伴う取替工事を行った。

発注額：1,188,000円（設計額1,193,500円）

工 期：5月19日～6月17日

場 所：コミセン下東条 事務所

内 容：床置型パッケージエアコンの設置（2台）

請負業者：有限会社ハタヤ電設

2 今後の予定

[いきいき社会創造係]

○小野市名誉市民 馬場あき子さんの映画上映

タイトル：『幾春かけて老いゆかん 歌人 馬場あき子の日々』

上映日：7月29日（土曜）1回目：10：00～、2回目：13：30～

場 所：小野市うるおい交流館エクラ エクラホール
料 金：1,000円 ※全席自由席、当日券のみ

〔図書館〕

○夏休み宿題応援展示コーナーの設置

期 間：7月20日（木）～8月31日（木）

内 容：小学生を対象に、読書感想文におすすめの本をジャンル・学年ごとにカウンター前に設置。また、自由研究アイデアカードを児童展示コーナーに設置。さらに、カウンター前に工作の見本と、トライやる・ウィークの中学生が作成したおすすめ本のPOPを展示。

〔コミセン〕

○下東条地区グラウンドゴルフ大会（下東条地区地域づくり協議会）

地域高齢者の交流、仲間づくりのためのスポーツ行事として開催する。

日 時：7月5日（水）9：00～

場 所：こだまの森

競技種目：グラウンドゴルフ

参加者数：95人・19チーム

○下東条地区夏まつり

日 時：8月5日（土）19：00～

※雨天時は6日（日）に順延

場 所：小野市立市民研修センター運動場（コミセン下東条）

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：最近ではコロナのこともあるからか、市民の方が調理するのではなく、キッチンカーを呼ぶようになってきていると聞いたが、小野市もやはりそのような方向になっているのか。（教育委員）

A：下東条地区夏まつりもキッチンカーが来る予定になっている。（事務局）

- ・ 先程、パブリックコメントで小野市の文化財等をPRしてほしいという意見があったと言っていたが、私ももったいないと思うことがよくある。ビッグひなまつり等はテレビで取り上げられたり、毎年行われているので、認知されていると思うが、普段のイベントでもとても魅力的なものがあるのになかなか発信されていないのではないか。好古館や図書館は特に皆に使ってほしいところなので、インスタグラムやFacebook等を活用して、何か良いPRの仕方

がないかと思案している。この間、ひまわりの丘公園や、その後にミルカーズや浄土寺にも行ったのだが、お昼の暑い中にも関わらずたくさんの方がいた。ひまわりをきっかけに小野市を訪れて、他にも何かないか調べて訪れる方も多いのではないかとすると、小野市民にも地域の外の方にも検索しやすい方法があればよいのではないかと考える。(教育委員)

■【スポーツ振興課関連】

①学校保健体育事業の推進

(進捗状況)

- ・6月19日(月)から23日(金)にひまわりカードによるバランスの良い朝食摂取率調査を実施した。集計ができ次第、結果を報告する。

(今後の予定)

- ・東播地区中学校総合体育会が7月15日(土)・16日(日)・17日(月)に開催される。 ※バスケ・剣道のみ7月8日(土)・9日(日)
- ・近畿大会は8月4日から和歌山県を中心に開催される予定。

②第10回小野ハーフマラソン2023

(進捗状況)

- ・市内関係団体への協力依頼を行った。
- ・現在の申込状況について、定員6,000人のところ既に2,000人の申込があった。昨年に比べると2割増し程度の申込がきており、今のところ好調である。

(今後の予定)

- ・7月21日に赤星会長と市長の座談会が行われる予定。広報9月号で特集が生まれ、座談会の様子を掲載させていただいて、参加者の増加をはかる。

③スポーツ振興課情報

1 学校保健体育

○小野市中学校総合体育大会

日 時：6月16日(金)、17日(土) [予備日：18(日)]

※陸上競技は17日(土)、18日(日)

※新人体育大会開催予定日：9月23日(土)

※陸上競技は10月1日(日)

2 社会体育

○第13回スポーツ玉入れ「アジャタ」大会

日 時：7月23日(日) 9:00～

場 所：小野市総合体育館アルゴ アリーナ

○第21回小野市ひまわり杯 少年野球大会

日 程：7月30日（日）、8月5日（土）、8月6日（日）

場 所：大池総合運動公園野球場・榊公園球場・河合運動広場

3 今後の予定

○市長激励会

日 時：8月2日（水）16：00～

場 所：市役所5階特別会議室

※県総体（7/22～30）の結果により、出席者が決定

○教職員健康診断

日 時：8月16日（水）、24日（木）終日

場 所：小野市役所2階2-1～2-4会議室

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：ハーフマラソンについて、6,000人のところ2,000人の申し込みがあったということだが、これは全コースあわせた申込者数なのか。（教育委員）

A：その通り。（事務局）

Q：なぜ去年よりも申込が増えるペースが早くなっているのか。やはり小野ハーフマラソンの人気が定着してきたということだろうか。（教育委員）

A：昨年6月10日頃から募集を開始したが、今年は6月1日から募集を開始しており、昨年よりも募集開始時期を早めた。それから、今回は第10回の記念大会ということで、ランナーからの期待もあるのではないかと考える。今のところ好調な出だしになっている。（事務局）

Q：去年はスペシャルゲストとしてハジ→さんという方がいらっしゃったが、今年はまだ決まっていないのか。（教育委員）

A：今年もハジ→さんがスペシャルゲストとして出演予定。プロ野球選手については、まだシーズン途中なので確定はしていないが、例年通り阪神とオリックスから参加される予定になっている。また、赤星会長も今年はランナーとして走るというようにおっしゃっているので、そこにも期待している。（事務局）

Q：第10回大会ということで、何か特別なことはあるのか。（教育委員）

A：今回はザ・ノース・フェイスというブランドの商品を参加賞にしている。それからレッドブルと協賛することができ、レッドブルのドリンクステーションを追加で設置する。それを目当てにして来られる方もいるのではないかと思います。（事務局）

5 次回定例教育委員会予定

令和5年8月24日（木）午後1時30分 4階会議室4-1

6 閉会あいさつ 教育長